



陽東中だより

第1号

平成30年4月19日
発行者 校長 酒井功夫

目指す生徒像 ～本気 勇気 元気 根気～

よろしくお願ひします

4月2日に本校に着任しました校長の酒井功夫です。この度の定期異動で、鬼怒中より転勤して参りました。今年度の異動で、21名の教職員が転入しました。皆さん表情に少し硬さが見られ、緊張した面持ちでした。私は、平成21年度から22年度までの2年間、本校副校長として勤務しておりましたので、少しは学校の様子をわかっているつもりでしたが、やはり慣れないところでとても疲れた陽東中初日を過ごしました。以前勤務していたときの特に印象に残っているのは、体育祭で今や伝統となっている「よさこいソーラン」を初めて披露したことです。あれから8年の年月を経て、学校の雰囲気も大きく変わり、不安と期待でいっぱいになりながら、毎日を過ごしています。つい先日、着任の挨拶のため学校周辺を回っていたところ「また戻ってきたんだね。よかったね。」等の温かい励ましのお言葉をいただきちょっとほっとしたところでもあります。微力ではありますが、何事にも誠意をもって取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



平成30年度学校経営方針

生徒を中心とした活力に満ちた明るく、楽しい学校づくりを目指すためには、全教職員が和と協力、熱意、人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組み、そして地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進していくことが大切であると考へます。そこで、今年度は以下の6点を学校経営の方針に据えました。

- 1 教育活動のねらいを明確にして分かる授業の実践と一人一人のよさを生かす活動の充実に努める。
- 2 生徒が自主的、自発的に活動する場の充実に努め、基本的な生活習慣、豊かな心の育成に努める。
- 3 たくましい体、豊かな心の育成を目指して、自己の目標に向かって挑戦する活動の充実に努める。
- 4 温かく潤いのある環境づくりに務める。
- 5 家庭や地域との連携に努め、信頼される学校、開かれた学校、地域学校園内の連携に努める。
- 6 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切にするとともに、勤務時間を意識した働き方を推進することにより、専門職としての資質向上に努める。

以上のことを常に意識しながら、65人の教職員とともに信頼される学校づくりに努めていきたいと思ひます。

平成30年度入学式

11日(火)に平成30年度の入学式を実施しました。今年度の新入生は、男子148人、女子137人の計285人です。2年生が260人、3年生が281人で、全生徒数は、826人になりました。一人一人の顔には希望に胸踊らせた喜びと新たな決意が感じられ、大変うれしく思いました。入学式には、26人の来賓の方々にご臨席いただき、新入生を温かいまなざしで見守ってくださいました。

当日は、次の三つのことを校長式辞としました。一つ目は、学校は勉強するところである。中学時代は、一番学力の付く時期なので、授業に集中し、予習、復習をしっかりと行ってほしい。「中学生は、勉強するために学校に来るということを忘れないでほしい」という話をしました。二つ目は、豊かな心の持ち主になってほしい。全国的にいじめ問題が報道されており、不幸な事故にも繋がっています。「相手の気持ちの痛みや悲しみがわかるような人間になり、陽東中からはいじめをなくしたい」という話をしました。三つ目は、安全に気を付けた生活をしてほしい。「学校周辺の道路や交通状況を考え、交通事故に遭わないように、そして最近は何が起こるかわからない世の中なので、常に注意深く生活してほしい」という話をしました。



1年生オリエンテーション(部活動紹介)

入学式翌日の11日には、中学校生活に早くなじんでもらうためのオリエンテーションを実施しました。午前中は、中学校生活での基本的なことの話があり、緊張した面持ちでしっかりと聞いていました。そして今日からは、早くも給食を食べることになっていたのので、給食当番のやり方や配膳の仕方を教わり、楽しく給食を食べていました。午後には、部活動紹介がありました。先輩から後輩となった1年生に、各部活動の一コマを見せながら説明を加えていました。最後に担当の若林先生から、加入にあたっての注意点や個人情報に関する説明がありました。部活動は、中学校生活で一番興味あることだと思われまますので、どの生徒の目も輝いてしっかりと聞いていました。

